

雇用対策の取り組みについて問う

近藤 浩 議員（改革）

町長 雇用の確保に必要な施策を検討していく



瑞穂ハローワーク

応援など、これまでの取り組みの成果と実績について。
町長 地域雇用問題連絡会を組織し、再就職支援セミナーを実施するなど、各種施策で効果が発揮されている。
問③ 今後の課題や展開について。

町長 社会参加の促進と雇用の確保を統合し地域特性に合わせた独自の施策が必要となるものと考え、総合的な見地から雇用の確保に必要な施策を検討していく。



問① 町の現状をどう捉えているか。
町長 町においても企業の資金繰りの悪化で設備投資が遅れ、雇用状況も改善しない状況が続くものと予測している。
問② 対策組織や生活

こんな質問もありました
雨水対策と利用について。
町長 雨水利用の促進を主とした事業展開と、有効性について引き続き研究していく。

ご当地ナンバープレートの活用で、町の魅力再発見と継続的なPRを提案する



齋藤 成宏 議員（民主）

町長 発行する考えはない

質問 自治体が課税するバイクのナンバープレートは、運転に危険が及ばない範囲で、図柄や形状を自由に変更することができる。町

制施行70周年という節目の年に、ご当地ナンバープレートも活用し、町民の柔軟な発想とアイデアで、瑞穂の魅力を再発見し、町内外へPRすること

問② 継続的なPRとしても有効と考えるが、町長 町の魅力を発信するためには、その手法にも、オリジナル性や話題性が求められる。現段階で、オリジナルナンバープレートを発行することが、他の地方自治体をしのぐPR施策となるかは考えにくい。従って、発行する考えはない。



調布市で実施しているご当地ナンバープレート

町長 最近では特産品の絵柄を加えたり、地域にゆかりのあるキャラクターをナ

問① 先進事例を調査研究すべき。
町長 最近では特産品の絵柄を加えたり、地域にゆかりのあるキャラクターをナ

高齢者が憩える場の設置を

谷 四男美 議員（住民）



町長 現在ある公共施設などの活用を先行すべき

質問 高齢者の比率が高まる中、ひとり暮らしの高齢者の孤独死も伝えられている。中高年の人達が身近なところで集まり、囲碁や将

棋、囲らんする場所を提供したらどうか。すでに中高年が積極的に活動している地域があり、その地域の空き家などを町が借り受け、管理・運営・維持を利用者に任せる方法をとり、中高年の人々が生き生きと暮らせる町づくりになるかと考えるが町長の答弁を求めます。



高齢者が憩える場「寿楽」

町長 住民が気軽に集える場所として、各地区会館や

2カ所のコミュニティセンターに加え、長岡にも建設予定であり、公共施設を計画的に配置している。空き家などを町が借り受けるとなると、物件の確保や多額の賃貸料が必要となり、利用者が限定的になる場合や、公共施設の利用率の低下も考えられる。地域主体のまちづくりは重要な課題であるが、現在ある公共施設や町内会集会所など、地域の資源を活用することを先行すべきである。

ヒト白血病ウイルス - 1型母子感染を防止するための施策の取り組みを

下野 義子 議員（公明）

町長 助成する段階ではないと考える



NPO法人が発行している啓発ポスター

質問 ヒトT細胞白血病ウイルスは、難病で死亡率の高い成人T細胞性白血病や関連脊椎症の原因となるウイルスで、発症する危険性があるのは、子どもへの母乳による母子感染である。感染リスクの軽減策は、妊婦の方が抗体検査を行い、感染していた場合に母乳を与えない事しかない。妊婦の方に、感染に関する情報を提供すると共に、検査費用の助成心のケアなどの取り組みを実施すべきと考え、町長の所見を伺う。

町長 感染を防止するためには、病気の理解促進が必要であり、病院や町が協力して周知を進めなくてはならない。また、病

こんな質問もありました
マルチメディア・デジタル教科書の活用を。

町長 国の調査研究結果や先進的に活用している例を参考に研究していく。